

2012パート春闘 おしゃべり学習交流会

2月3日、グリーン会館にて「2012年パート春闘おしゃべり学習交流会」を開催し、43名が参加しました。学習会は、関西勤労協の榎野理啓さんから「労働組合はすごいぞ！ 元気に春闘をたたかおう！」と題してクイズ形式で分かりやすく話していただきました。「商品の価格はどうやって決まる」「パート・非常勤にふさわしい賃金は」「労働組合をつくるとなにができる」などの問いに参加者も引き込まれていくようでした。「おかしいことをおかしいと言えないのが資本主義であり、正々堂々と言えることが大切。」「労働組合は個人の利益を守るだけではなくみんなの利益を守る組織」「みんながまともな雇用にするため、労働組合の役員や一部の人にまかせるのではなく、ひとりひとりが自分で考えていくことが求められる。」と強調され、参加者も頷いて聞いていました。

瀬戸事務局長からの2012年パート・非常勤連絡会春闘方針提起のあとは、毎年恒例のグループに分かれておしゃべり交流会を行いました。今回は、例年より時間をとりましたが、それでも時間が足りなくなくなるくらい話が盛り上がりました。



大阪労連パート・非常勤連絡会ニュースより

関電は再稼働を行なな！

2月9日、全労連近畿ブロックは「ストップ再稼働、福井の原発は廃炉に」と関西電力本社に要請行動を行いました。関西電力の八木社長あての要請書と「福井の原発をなくすことを求める要請署名」を提出しました。関西電力は、何の反省もなくストレステストの提出、そして再稼働向けの準備を進めています。各府県代表から「事故が起きれば琵琶湖が汚染され、取り返しのつかないことになる。原発の再稼働を行なな！」と次つぎに訴えが行われました。

要請に先立ち、中之島公会堂で学習会と活動交流を行いました。滋賀の仲間からは、福井原発の再稼働の反対の仮処分申請を行っている事が報告されました。大阪からは続副議長が「原発が全て止まっても、市民が生活していくことが出来るという事が明らかになった。再稼働を許さないたたかいを進めていこう。大阪では扇町公園で行われる『3.11 府民集会』の成功に向け奮闘する」と決意が語られました。その後、関電に向け200人を超える参加者で、デモ行進を行い「関西電力は再稼働を行なな！」「すべての原発をなくそう」と市民アピールしました。



社会保障改悪と消費税増税の一体改悪ストップへ！ 国民には大增税、大企業は負担軽減 学習を力に、暮らしを守る運動を拡げよう！

大阪自治労連は2月5日（土）、大阪グリーン会館で「税と社会保障の一体改革」について勤労協の中田進氏の講演など、学習会を行い、19 単組などから 80 人が参加しました。

その後、運動の交流では、公衆衛生部会から「行政改革で、大阪府下の保健所、保健センターは半減し、行政サービスが充分に行えなくなっている」。税務部会からは、「消費税の陰に隠れて、共通番号制の導入をして、国民を管理、社会保障を管理しよう、情報を規制緩和して企業にも活用できるようにしようということが、こっそり行われようとしている」。医療部会からは、「保険制度の中で、制度改正がされるので、低所得者に手厚くすると、他の所で改悪される。消費税増税が病院の経営を悪化させる」。保育部会から

は「公的責任を放棄して行く危険な中身の『子ども子育て新システム』が、この国会に法案が提出される」といった問題点などが報告され、今後の運動の方向が示されました。

大阪自治労連として、①情勢の変化に沿った学習を強めて行くこと、②「社会保障の充実を求める署名」を5月末まで取り組むこと、③地域団体や関係団体との共同を広げて行くことを行動提起し、春闘の運動として取り組んでいくことを確認しました。

大阪自治労連速報より



TPP 参加・消費税増税を許すな！なくせ貧困！住民本位の震災復興を！ 12 春闘要求実現 2・10 中央総行動

春闘本番勝利に向け、2・10 中央行動が 7000 人の参加で 1 日繰り広げられました。

全労連・パート臨時労組連の池袋での早朝宣伝には、大阪から 8 人が参加し、宣伝カーから嘉満幹事が職場に向かう働く仲間に「非正規労働者が人間らしく生活できる社会を」と語りかけました。

その後、パート非常勤連絡会の仲間は議員行動を展開しました。同時に取り組まれた、厚生労働省前行動では、公務・民間を問わず多くの仲間が、厚労省前から隣の人事院前までの歩道を埋め尽くしました。参加者から「自治体でも年度末に向けて、雇止め、受託できるのか不安の日々を送っている多くの労働者がいる。政府に公契約法制定・条例制定促進、全国一律最低賃金の確立を迫ろう」などの訴えが続きました。

お昼からは、「国民のいのち・暮らしを守る 2・10 中央総決起集会」がかいさいされ、主催者を代表してあいさつした全労連・大黒議長は、「1 月 24 日から開催されている国会で野田首相は、社会保障と税の大改悪を進める露払いとして、国家公務員の賃下げと国会議員の比例定数の削減を強行する構えをみせているが、こうしたシナリオはなんとしても食い止めなければならない。野田首相の暴走と横暴きわまる財界に怒りを爆発させ、消費税増税反対、TPP 参加反対、原発ゼロをめざす取り組みのたたかいに合流し 12 春闘を大きく発展させよう」と呼びかけました。

銀座パレードでは、大企業は社会的責任をはたせ！と沿道の人々に訴えました。引き続き行われた「経団連包囲行動」では、大企業による不当解雇とたたかう 4 人が発言し、さらに首都圏建設共闘から千葉土建の代表が「大企業だけがよければいいのか。260 兆円もの内部留保を国民・労働者に使え」と経団連にせまりました。

最後に、集会参加者全体が経団連に向けシュプレヒコールをぶつけ、この日の行動を終了しました。

